

スマイル研修の目的は人からほめられるためなのです

春寒の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

また新しい年度になりました。昨年度は増収ながら減益と少し残念な結果でありました。賃金のアップとかさむ募集費に契約金額のアップが届かなかったのが主な理由です。我々のお給料はお客様から頂いています。お客様のご理解がいただけるよう、皆さんよろしく申し上げます。



代表取締役社長 吉田治伸

さて、知的障がい者の雇用で全国的にも有名なチョーク製造の日本理化学工業では、全社員84名中62名が知的障がい者です。先日テレビでたくさんの方が定年まで働いている現状を知り、感動いたしました。そんな日本理化学工業が障がい者雇用に関心をもち、導師に「人間の究極の幸せは、・人に愛される事、・人にほめられること、・人の役にたつこと、・人から必要とされること。」と言われ、「障がい者をお世話するのではなく、働いて役に立てるようにするのが会社の役目。」と言われた事だったようです。

私もまったく同感で障がい者雇用に限らず、働くことの目的が上記であると思っています。わたし的には、「人に愛されること」ではなく、「自分が成長を感じること」を入れて、「働く究極の幸せ」としたい気分です。

会社で1000人以上の方が受けてくださっている「スマイル研修」は、それを実践する事によって「人(お客様、ユーザー)からほめられる」、当社にとって重要な研修です。どうぞご協力お願いいたします。

今期もまた皆さんにとって、お客様にとって、会社にとっても過去最高の年になりますよう御祈願申し上げます。